

令和 7 年度「市民と議会の意見交換会」報告書（速報）

（ 1 回目）班名：第 2 班

テーマ 「マチのにぎわいと公共交通について」

開催日時	令和 7 年 9 月 3 0 日（火） 午後 4 時から
開催場所	港西コミュニティセンター
出席議員	司会：宇川議員 記録：鈴木議員 オブザーバー：小野議員
参加者名	村上 直希、大石 昌明、高橋 基文、佐藤 太紀、上田 早紀
話し合いの項目等	マチのにぎわいと公共交通について

質問、意見、回答	質問意見等の要旨及び回答の要旨等
意見 1	商業者の高齢化が進み、体力的に厳しくなっている。今後は地域の公共交通を整備し、市内だけでなく郊外へも買い物に行けるようなバス路線を考えていく必要がある。
意見 2	市内の商店街では、商売を続けている店舗はあるものの市民が本当に必要としている商品を扱う店が少ない。
意見 3	後継者不足と高齢化によって、商店街の衰退がますます進んでいる。
意見 4	買い物のため、病院へ通院するためなどバスを使う理由は様々だと思うが、生活のための移動を支えるため、バスの運行経路（移動通路）をもっと充実させてほしい。
意見 5	観光の面では、定住人口は減少しているが、交流人口は増加傾向にある。観光客が通過するだけでなく、目的地として訪れてもらえる場所を増やす必要がある。
意見 6	留萌市に来るお客さんの流れを踏まえ、将来を見据えた事業の進化や変化を考えるタイミングに来ている。
意見 7	商店街の事業を引き継ぐ後継者を見つけるために、行政としても支援策を打ち出してほしい。
意見 8	メイン通りには空き家や老朽化した建物が多く、「危険です」という張り紙が目立つ。これではにぎわいは生まれにくい。放置された建物への対策を検討してほしい。
意見 9	現在の空き店舗補助金の金額では改装は難しい。 市が担保となり無償貸付制度を設けて、商工会議所が仲介する形で空き店舗を活用しながら新しいお店を始められるようになるとより良い制度になるのではと思う。 留萌市の空き店舗を活用してもらうためにも情報発信をもっと強化すべき。
意見 10	廃業して残っている店舗が少ない。市の方向性として、コンパクトシティをうたっているのであれば、一箇所に商店を固めて再構築できればと思う。
意見 11	空き店舗は間違いなく増えてくるので、移住者がそれを活かして何かやってみたいと思えるような制度を整えることが先決であると思う。

意見 12	運転手不足もありスクールバス単独での運営はもう難しいところだと思うので、混乗化（一般利用との併用）を検討してほしい。
意見 13	バスの本数を増やしてほしい。
意見 14	市内交通もだが都市間交通の課題もあわせて早期に解決してほしい。
意見 15	経済が活性化するところは人の来るところであるという観点からも、新交流複合施設のバスターミナル機能は重要。旧駅前開発を中核として経済の巻き返しを図ると、そこに公共交通の可能性がでてくるのでは。
意見 16	街をコンパクトにして、一つの交通手段でぐるっと回れるな社会づくりも必要だと思う。また、ライドシェア（相乗り）の活用を進め、移動手段を充実させてほしい。